

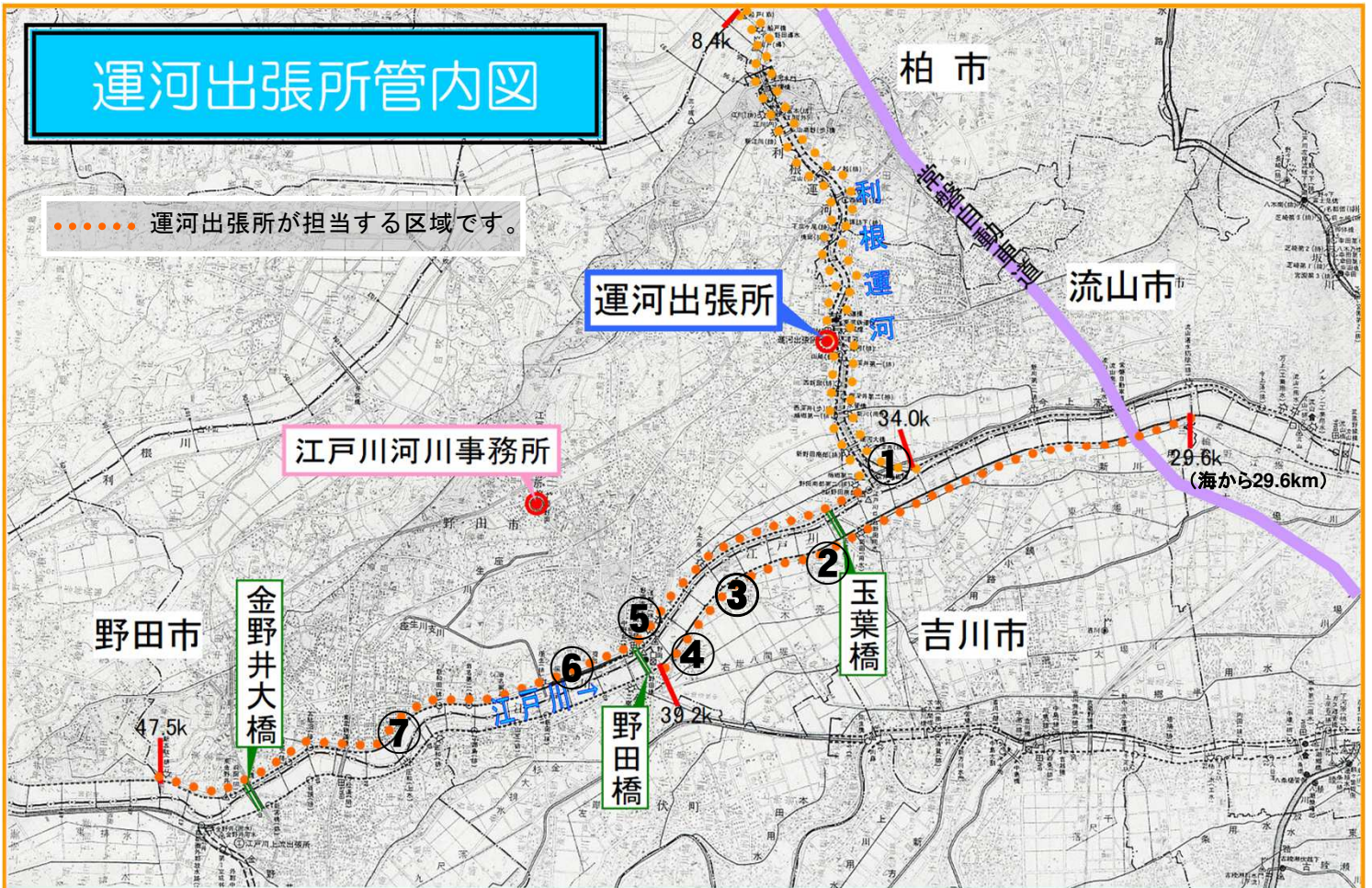
運河だより



国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
運河出張所発行
千葉県流山市西深井836
電話 04(7152)0102
2020年1月【第26号】



工事のお知らせ (運河出張所)

現在施工中の工事紹介です。



	主な工事	工事期間(予定)	主な工事内容	
①	江戸川流山 土砂ストックヤード		・堤防工事で使用する土砂を仮置きしています。 運搬車両の出入りがあります。	
②	江戸川吉川 土砂ストックヤード			
③	上内川地区基盤整備工事	R1.8 ~ R2.3	・首都圏氾濫区域堤防強化対策(※裏面参照)の基盤整備を行っています。「水路や道路の付替え」「堤防の川裏(街)側の盛土」	
④	野田橋下流地区基盤整備外工事	R1.6 ~ R2.3		
⑤	中野台地区堤防整備工事	R1.11 ~ R2.3	・江戸川堤防整備(※裏面参照)により、堤防を大きく強くしています。	
⑥	座生地区河道掘削工事	R1.6 ~ R2.3	・洪水を安全に流下させるため、川の断面を大きくしています。 野田橋付近の埼玉県側でも河道掘削工事を行っています。	
⑦	岩名地区河道掘削工事	R1.8 ~ R2.3		
	運河河川維持工事	H31.4 ~ R2.3	・江戸川左岸(千葉県側)と利根運河の維持管理全般(除草含む)	
	三郷・吉川河川維持工事	H31.4 ~ R2.3	・江戸川右岸(埼玉県側)の維持管理全般(除草含む)	

運河出張所管内では現在、上表の工事を行っています。
ご協力、よろしくお願いいたします。

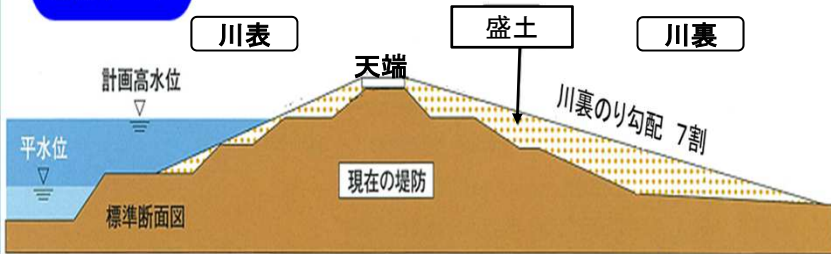
<首都圏氾濫区域堤防強化対策>

堤防の断面積を大きくし、**浸透**による堤防の決壊を防ぎます。

- 緩い斜面の堤防→すべり破壊などに対する安全性強化
→洪水時の堤防基盤からの水漏れを押さえる

・**浸透**・・・増水した河川水や雨水が、堤防の中にしみ込むこと。
堤防の中に浸透することで、堤防が弱くなる。

整備イメージ

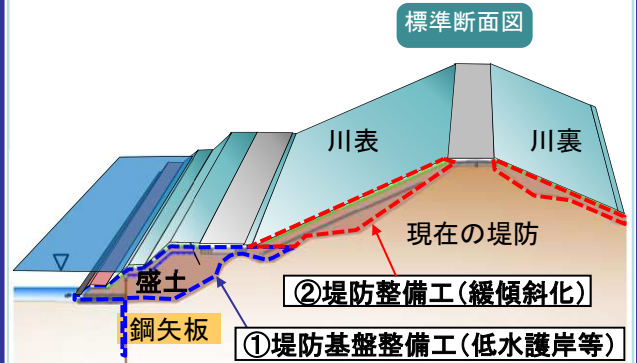


- ・**天端(てんば)**・・・堤防の上端・上面
- ・**川裏**・・・堤防の街(民家)側
- ・**川表**・・・堤防の水面側
- ・**緩傾斜化**・・・堤防斜面の勾配をゆるやかにすること

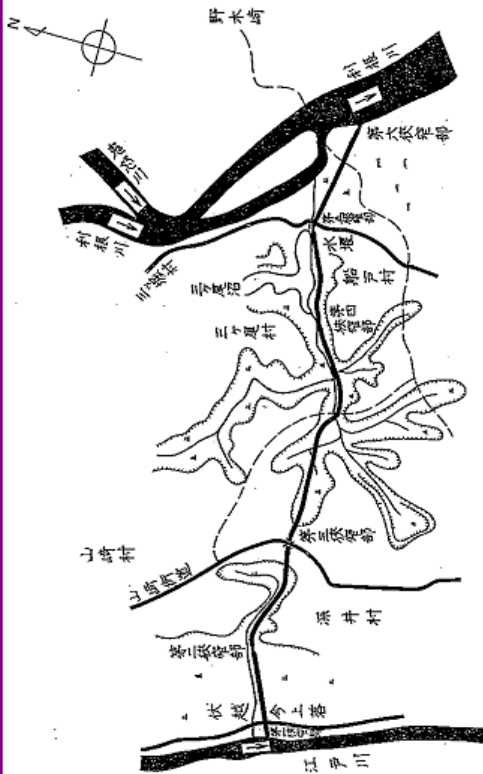
<江戸川堤防整備>

堤防の断面不足を解消します。

江戸川の堤防において、洪水に耐えるための断面(大きさ)が不足している箇所があります。そのため、段階的に堤防の基盤整備等を実施し、引き続き盛土による堤防拡幅(緩傾斜化)を進めていきます。また、洪水を安全に流下させるための河道掘削を実施します。



利根運河付近の地形



利根運河の歴史

(明治23年～明治末)

○連載第四回 「利根運河 - 竣工及び繁栄」

明治23年6月18日、当時の内閣総理大臣山縣有朋らの出席のもと、壮大な竣工式が挙行された。しかし残念なことに功労者の一人である広瀬は、通船を目の前にした3月18日に享年54歳で病没、またムルデルも5月に政府の雇用期間が満了したため帰国の途に着き、式にあてた祝辞において式典に参加できぬ無念を述べている。

利根運河は株式会社という形態の私企業が建設及び運営を行ったため、船舶や筏から通船料を徴収して経営が行われる一方で、利用者増加を目論んで運河大師の勧請や現在にも繋がる桜並木の植樹等で話題を創り、客を誘致するアイデア等で運河の観光地化を図った。

この時期の運河は現在の流山街道付近から江戸川口まで店が並ぶ賑わいをみせる。この明治時代中盤から末までが運河の短い歴史で最も華やいた季節であった。

この頃、明治29年9月の台風で鬼怒川から大量の土砂が利根川へと流入し、船戸付近に堆積し河床が高くなった結果、当初の江戸川から利根川への流れが逆転するという現象が発生する。

まるでこの後、時代の流れの中で翻弄されていく利根運河の姿を暗示するように・・・<敬称略・・・次回に続く>

※「運河だより」第4号より再掲載

江戸川河川事務所のホームページ から河川法第24条、26条、55条などの申請様式がダウンロード(ワード、一太郎、PDF)出来ます。

<URL-> <https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/index.html> (江戸川河川事務所 HP)
<https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00112.html> (河川占用申請 URL)

♪あとながき♪

昨年の台風19号では、野田橋の下流に設置した野田水位観測所で氾濫注意水位を越えました。運河出張所管内では大きな被災はありませんでしたが、引き続き堤防を大きくする等の対策により河川の安全を確保してまいります。ご協力よろしくお願いたします。

◆「運河だより」はインターネットでもダウンロードできます！
<URL-> <https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00002.html>

江戸川河川情報(QRコード)を利用し、降雨状況や水位情報に注意して、早めの判断をお願いします。



QRで江戸川の情報をGet!

